

ものづくり基盤技術 世界へ

広告

（企画・制作）
日本経済新聞社クロスメディア営業局

15日から18日まで 東京ビッグサイトで

金型関連の最新技術を一同に集めた専門見本市、「インターモールド2015/金型展2015」（主催＝一般社団法人日本金型工業会）と「金型プレス加工技術展2015」（主催＝一般社団法人日本金属プレス工業協会）が、15日から18日までの4日間、東京都江東区有明の「東京ビッグサイト（東京国際展示場）」で開催される。昨年を大幅に上回る427社・団体が出展、ものづくりの基盤を支える金型の設計・製造から金属プレス・プラスチック成形に至る最新情報を発信することで異分野・異業種との連携を促す場となることが期待されている。

INTERMOLD 2015 金型展2015 金属プレス加工技術展 2015

URL <http://www.intermold.jp/>



工業製品を安定した品質で大量に生産できるのは、高品質の金型があつてこそ。金属、プラスチック、ゴム、ガラスなど様々な素材に所定の形状と性質を持たせ、自動車から電子・電気機器、ガラス製品、建材に至るまで、あらゆる製品の部品をつくるために不可欠なツールが金型だ。

金型は、その国の産業力を映す鏡とも言われ、日本は世界を席巻してきた。しかし長く続いた景気低迷、製造業の海外シフト、製造業各社における部品共通化の動き、韓国・台湾・中国の金型メーカーの台頭などが響き、ピーク時（1991年）に1兆9000億円を超過していた金型生産額は2012年には1兆2000億円程度にまで減少するなど厳しい状況が続いている。

国内メーカーは、さらなる技術力向上・高品質化と低コスト・短納期化や海外での生産・営業拠点の拡充に活路を求めるとともに、医療機器や航空・宇宙、燃料電池など高精度が求められる分野で技術力を発揮することで、東南アジア勢の先を行くことをめざしている。さらに業界全体にとって脅威とならざる3D（3次元）プリンティングを、いかにして金型製造に取り込みビジネスチャンスとして活用するかも大きなテーマとして浮上している。

3Dプリンティングなど 特別企画や商談会を拡充

最先端の金型加工と成形加工技術の専門見本市として毎年、東京と大阪で交互に開催されてきた「インターモールド」は今年で26回目の開催となる。2004年からは「金型展」、07年か

らは「金型プレス加工技術展」との併催となり、金型の設計・製造から金属プレス・プラスチック成形に至る一連の工程を網羅、日本のものづくりを支える素材産業の最新情報を発信する大型展示会として存在感を示してきた。出展者数も昨年の350社・団体を大きく上回る427社・団体、小間数も872に増えた。

日本金型工業会ブースでは、日本が誇る技術の結晶ともいえる次世代自動車、年々需要が高まっている医療機器

異分野・異業種と 連携の可能性拓く 427社・団体が出展

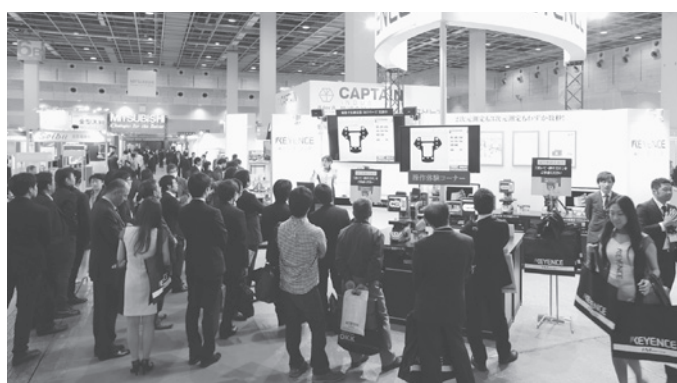
など向けの金型や加工サンプルの展示を行う。また、日本金属プレス工業協会のブースでは、一層の市場拡大が予想される電気自動車、スマートフォンやデジタルカメラに代表されるデジタル・モバイル機器などに組み込まれる

金属プレス部品製品と加工サンプルを展示する。

今回のみどころの一つは、昨年初めて実施し、注目の高かった「試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア」。「自動車部品製造技術フェア」「航空機部品製造技術フェア」という特別企画をさらに拡充したこと。

▼試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア 商品サイクルが短期化し多品種少量生産が広がる市場で、競争力のある商品づくりには企画開発段階から量産に至るスピード化が不可欠となっている。高品質で高付加価値なものづくりに必要な解析・検証技術

はもちろん、商品開発において企画やデザインのイメージをダイレクトにかつスピーディーに形状化できる3Dプリンティング技術などの最新情報を集



昨年の大阪開催の会場風景

め、これまでにないものづくりソリューションを提案する。

▼自動車部品製造技術フェア 世界の自動車産業をリードする日本の自動車部品製造技術にスポットを当てた専門フェア。大手メーカーから中小企業、小規模企業までの進化を続ける自動車部品製造技術を紹介する。

▼航空機部品製造技術フェア 中小企業が高い技術力を生かした新たなビジネスチャンスを獲得できるよう、部品製造メーカー、素材関連メーカー、製造設備メーカー、受注共同グループなど、航空機・宇宙産業に関連する最新製造技術を集め、同分野へ参入を図るための提案を行う。

講演・セミナー・プレゼン 面白くためになる企画も

日本自動車部品工業協会会長・日本発条社長の玉村和己氏による基調講演のテーマは、「自動車産業を支える日本自動車部品工業会を取り組み」。日本自動車部品工業会技術顧問の松島正秀氏による特別講演のテーマは「自動車の技術動向と環境や自動運転と部品技術の取り組み」。このほか主催・協力団体による多彩な特別講演会や特別セミナーも開催される。

テクニカル・ワークショップ会場とオープンセミナー会場では、出展企業によるプレゼンテーションを実施、最新製品の情報が入手できる。

事務局では海外の金型関連団体・企業を中心に積極的な出展誘致活動を行い、海外パビリオンを展示会場内に設置するなど海外ビジネスマッチング企画を強化、展示会場は昨年以上に海外とのつながりを深めることができる場所となる。海外ビジネスセミナーでは駐日トルコ大使館商務参事官などによ

るトルコの自動車産業、金型産業をテーマにした講演が行われる。

海外関連の新企画として日本貿易振興機構（JETRO）による海外ビジネス商談会も開催される。日本の優れた金型メーカー、金属プレス機械メーカーとの商談を希望する外国企業（海外代理店・バイヤー）を招へいたす。

▼全日本製造業コマ大戦特別場所 中小製造業が自社の誇りを賭けて作成したコマを持ち寄り、一対一で相撲対戦する。普段は自社ブランド製品をつくる機会のない製造業者がコマを本気で作成することで、ものづくりのモチベーションを高め、その成果が多くの人の目に留まることで、製造業を元気にしようという思いで始まった。

▼第7回「学生金型グランプリ」 金型を学ぶ学生達が製作した金型、成形サンプルを展示。また、学生金型グランプリ・プレゼンテーションセミナーとして、学生たちが金型製作の設計から金型加工、成形に至る実施内容を説明する。実際の現場で生じた問題点やその解決方法、今後の改善点などを専門教育を受ける学生ならではの視点で解説する。

主催者側では盛りだくさんの内容で日本のものづくりを支援するイベントとして、金型産業、金属プレス産業関係者、自動車・自動車部品、家電・情報通信機器、航空機部品、医療部品、エネルギー関連などから約5万人の来場を見込んでいる。

◆会場 東京ビッグサイト（東4、5ホール）
◆入場料 1000円（税込）
◆招待券持参者、事前来場登録者は無料（登録は<http://intermold.jp/>）

◆開場時間 午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）
◆会場 東京ビッグサイト

◆日本金型工業会として、金型産業、金属プレス産業関係者、自動車・自動車部品、家電・情報通信機器、航空機部品、医療部品、エネルギー関連などから約5万人の来場を見込んでいる。

日本金型工業会として、金型産業、金属プレス産業関係者、自動車・自動車部品、家電・情報通信機器、航空機部品、医療部品、エネルギー関連などから約5万人の来場を見込んでいる。また、興味深い企画として「全日本製造業コマ大戦特別場所」が15日に、「第7回学生金型グランプリ」の発表講演会が16日に行われます。

高付加価値製品化へ連携強化を 日本金型工業協会会長 牧野俊清

「INTERMOLD2015/金型展2015」の開催に際し多大なるご支援・ご協力をいただきました関係諸官庁ならびに出展企業、関連諸団体の皆様に、無事開催の日を迎えるこ

ととなりましたことを、ご報告申し上げます。また、厚く御礼申し上げます。さて産業界の景況は、安倍内閣の経

済再生政策により、大企業は活況となつていますが、中小企業については、まだ残念ながらそこまでにはなっていない。2014年の金型生産額

2014年の実質国内総生産（GDP）伸び率は、4～6月期、7～9月期と、消費税率引き上げが響き2期連続マイナスとなり、10～12月期も0・

年の9628億円からほぼ横ばいとなつています。このような環境の中、金属プレス産業は、産業構造のグローバル化に対応

総合技術でグローバル化に適合 日本金属プレス工業協会会長 小林暢比古

4%増（年率換算1・5%増）と大きな改善がみられません。また2014年の金属プレス生産額は9623億円で、前年比6・6%減少した2013

することが求められています。このためには企業の自動努力に加え、ユーザ1産業との合理的な連携強化、金型産業はじめ他の素材産業や異業種との

連携強化、大学・研究機関等との連携、政府支援の活用等により、技術を一層高度化し、総合的技術へ発展させ、グローバル化に適合させることが重要である。

当協会は、昨年12月に創立50年の節目を迎えましたが、これを契機として、金属プレス加工技術の高度化、人材育成、安全・環境、海外展開、健全な取引慣行の推進等業界ニーズに対応した諸事業をこれまで以上に積極的

に展開してまいります。また、この事業にあたっては、金型業界及び鍛圧機械・工作機械等の設備業界等関連業界の皆さまとの連携は極めて重要であり、本展示会は、これに大きく寄与するとともに、わが国の金属プレス産業を国内外にアピールできる貴重な重要な機会となるものと確信しております。

関係各位の多大なご協力・ご尽力により本展示会の開催を迎えられたことに改めてお礼申し上げます。開催のごあいさつとさせていただきます。